

必ず、ご購入年月日・ご購入販売店名などの記載の有無をお確かめの上、お受け取りください。
保証書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。なお保証書の再発行はいたしません。

保証書 保証基準

1. この商品の保証期間はご購入の日より1年間です。(必ずご購入年月日、ご購入販売店名をご記入ください)
2. 保証期間内においては、パーツの欠品、不良加工等、弊社の責任によるものは無償修理いたしますが、使用者の責任によるものは実費修理とさせていただきます。
3. 次の項目は無償サービスから除外させていただきます。

A. フレームの自然劣化(メッキや塗装は時々お手入れを必要とします。)	C. 間違った使い方や手入れ不良によるもの。
B. バッグのキズや破れ。	E. 使用者の造作変更によるもの。
D. 製品使用によるタイヤの消耗。	G. 実費修理に要する運賃等の諸経費。
F. 災害・事故等によるもの。	
H. 保証書を紛失された場合。	
4. 一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。
5. 製品についての各種お問い合わせは、ご購入販売店または弊社に直接ご連絡ください。
6. 製品についての保証は、日本国内のみにさせていただきます。

●品質保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

お買い求めの日より3ヶ年経過した製品について修理はいたしますが、修理した製品についての品質、安全の保証はいたしかねます。
ただし、製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

●ご購入年月日	年	月	日
●ご購入販売店名			
(〒 -)			
ご購入販売店住所			
TEL () -			

ご購入年月日・ご購入販売店名の記入がない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
(もし記入のない場合は直ちにご購入販売店にお申し出ください)
なお、通信販売またはインターネット販売でご購入された方は送り状の控えと伝票を添えていただきます。
修理に際して、お客様から提出していただく住所・氏名などの個人情報は、お客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。

SGマークが表示された製品は 安心してご使用いただけます。

SGマークが表示されたシルバーカーは安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時に、製品の欠陥により万一事故が発生し、使用者が身体的な損害を被った場合は「製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

*但し、保証期間はご購入後3ヶ年です。

■賠償についてのご注意

- ◎ 認定したシルバーカーそのものが故障しても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- ◎ 詳しくは製品安全協会パンフレット又同協会ホームページを参照してください。

■事故の届け出について

製品の欠陥により事故が起きた場合は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または協会が指定する所に届け出てください。

●製品安全協会

〒110-0012
東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪 2F
TEL. 03-5808-3300(代)

事故の届け出に必要な項目

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名称 □) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 □) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
イ) 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
□) 被害の状況と程度

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

MADE IN TAIWAN 28.07

フランスベッド

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148-5

お客様相談室
0120-39-2824
http://www.francebed.co.jp/



リハテック
Reha tech

シルバーカー ラクティブ ミニ
R·active mini

〔取扱説明書〕 (保管用)

980900-8900

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
⚠ この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。(手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません。) 使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家(福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等)に相談し購入されることをお勧めします。
なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、充分ご理解された上、ご使用ください。

目次

警告事項・・・・・・・・・・	1	ブレーキの調整方法・・・・・・・・	5
注意事項・・・・・・・・・・	1~2	キャスターの操作方法・・・・・・・・	5
各部の名称・・・・・・・・・・	3	腰掛け方・・・・・・・・・・	6
車体のひろげ方・・・・・・・・	4	傘止めバンドの使い方・・・・・・・・	6
車体の折りたたみ方・・・・・・・・	4	カゴ受けフレームの使い方・・・・・	6
ハンドルの高さ調節・・・・・・・・	4	故障かなと思ったら・・・・・・・・	6
駐車用ストッパの操作方法・・・・	5	保証書・・・・・・・・・・	7
ハンドブレーキの操作方法・・・・	5	SGマーク・・・・・・・・・・	7

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、弊社お客様相談室、またはご購入販売店までお問い合わせください。

フランスベッド株式会社

0120-39-2824

ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、ご自身の体調の状態でご判断ください。

加齢等によって歩行機能が低下してこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

警告事項 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車、バス、電車内、エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨、雪、凍結等すべりやすいところでは使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ、および夜間に使用される際は十分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますので十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 段差を乗り越えるときに、車輪を持ち上げた状態で使用しないでください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをお勧めします。
- 車体の組み立ておよび調整は確実に行ってください。
- ご使用前に、必ず固定用ロックが確実にかかっているかを確認してください。固定用ロックがかかっていると車体が折りたたまれ大変危険です。(P.4 車体のひろげ方参照)
- 片手で押して使用しないでください。(傘を持ちながら等)
- ハンドルの高さ調節部(左右)が固定されているか確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体だけが前に動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台としては使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面を使用する場合は、必ず駐車用ストッパを左右両輪にかけ、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外の所には座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 弊社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

※ご使用前に

- 製品各部を点検し、特にハンドブレーキや駐車用ストッパの左右両輪の性能、タイヤおよびブレーキタイヤ押さえの摩耗、押したときのグラつきについては十分確認して使用してください。

腰掛け方

注

- 車体が完全に開いた状態で固定されているか確認してお座りください。(P.4 車体のひろげ方参照)
- 必ず駐車用ストッパをかけてからお座りください。(P.5 駐車用ストッパの操作方法参照)
- 腰掛ける時は、均等に体重が加わる様に座面の中央にお座りください。
- 浅く座ったり、後方に力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれの恐れがあります。ご注意ください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 最大使用者体重は80kgです。体重が80kgを超えられる方はご使用になれません。

傘止めバンドの使い方

- マジックテープを外して傘先を傘受けブラケットに入れ、マジックテープを傘に巻き固定してください。

カゴ受けフレームの使い方

- 座面下に収納されているカゴ受けフレームを出すと、買い物カゴを乗せたときにズレを減らして転落しにくくなります。
- カゴ受けフレームは出した時の長さを調整できますので、お使いになる買い物カゴの大きさに合う長さに調整してお使いください。
- 座面に座る際には、必ずカゴ受けフレームを座面下に収納してお座りください。

注

- このカゴ受けフレームは、買い物カゴのズレを減らすものであり、転落を確実に防ぐものではありません。重量物を偏って乗せたり、強く振ったりした場合に、カゴが転落する恐れがあります。カゴに乗せる荷物は重量が偏ることのないように均等に載せてください。

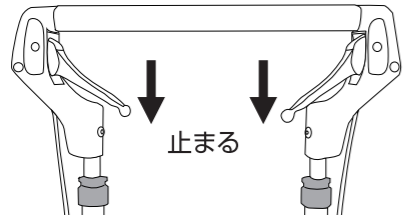


故障かなと思ったら・・・

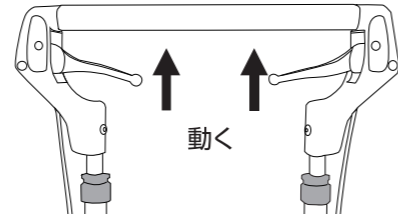
状況	原因	対処方法
ハンドルを押したときにハンドルが下がり車体が折りたたまれてしまう	固定用のロックがかかっていない	P.4 車体のひろげ方を参照して、固定用のロックをかけてください ※P.4 車体のひろげ方の指示通りに行っても固定用のロックがかからない場合は弊社お客様相談室へご連絡ください
ハンドルがグラグラと動く	ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない	ハンドルの高さ調整ピンが、穴にきちんとセットされているか、確認してください
駐車用ストッパまたはハンドブレーキが効かない	①ブレーキタイヤ押さえの摩耗 ②バネの劣化 ③車輪の摩耗 ④車輪の破損 ⑤連結部のサビ ⑥ブレーキワイヤーの折れ曲がり	①ブレーキタイヤ押さえの交換(弊社お客様相談室へ) ②バネの交換(弊社お客様相談室へ) ③車輪の交換(弊社お客様相談室へ) ④車輪の交換(弊社お客様相談室へ) ⑤潤滑油を注油する ⑥ブレーキワイヤーの交換(弊社お客様相談室へ)
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②バネの劣化	①キャスター(前輪)を手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに油を差してください ②バネの交換(弊社お客様相談室へ)
その他、車輪の交換や車体の破損など		弊社お客様相談室にて製品の点検、修理またはパーツの交換を行います

万一、破損・異常が発生した場合、または発見した場合は、そのまま使用せずに、弊社の点検・修理を受けてください。

駐車用ストッパの操作方法



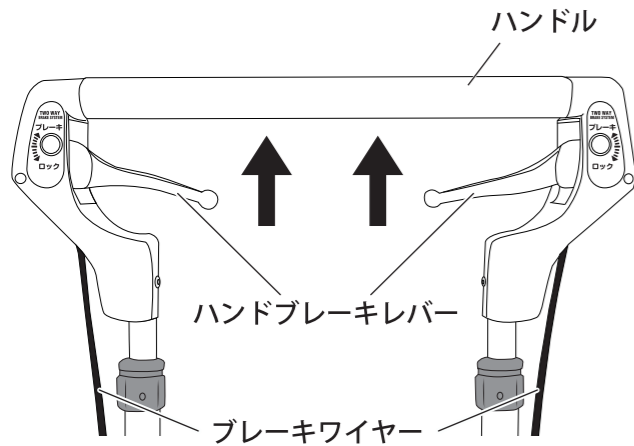
1. ハンドブレーキレバーを下にさげると後輪に駐車用ストッパがかかります。



2. ハンドブレーキレバーを上にあげると、駐車用ストッパが解除されます。

- 注**
- 駐車用ストッパのかかった状態（後輪がロックされた状態）で車体を押さないでください。
 - 座る場合や車体からはなれる場合は、必ず駐車用ストッパをかけてください。
 - 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので、坂道などでは腰掛けしないでください。
 - ハンドブレーキレバーを下にさげる際、指をはさまないように注意してください。
 - 駐車用ストッパのロックを解除するときは、ハンドブレーキレバーのはね返りで指や手をぶつける恐れがありますので十分注意してください。
 - 駐車用ストッパが使われる場合は必ず左右両方ともストッパをかけてください。

ハンドブレーキの操作方法



分離ブレーキ

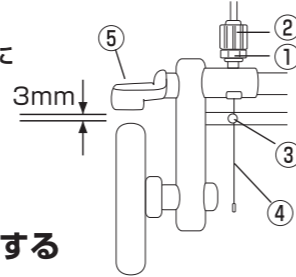
- 警告**
- ハンドブレーキを使用するときは、左右のハンドブレーキを同時にかけてください。片方だけをかけたときに反対側の車輪だけが旋回して転倒するおそれがありますので十分注意してください。

ハンドブレーキレバーを握れば、後輪（左右）にブレーキがかかります。

- 注**
- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。
 - ブレーキは構造上、自動車のブレーキのように効かないので過信しないでください。
 - ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキがききにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換をしてください。

ブレーキの調整方法

ブレーキタイヤ押さえと車輪のすき間が3mm 位になるように調整します。



■ブレーキをきつくする

②を回して調整し、①を上図の位置に戻してください。
なお不十分なときは、②を最初の状態に戻し、③をゆるめてから⑤を車輪に近づけた状態でワイヤー④を引っ張って、③を締めてください。

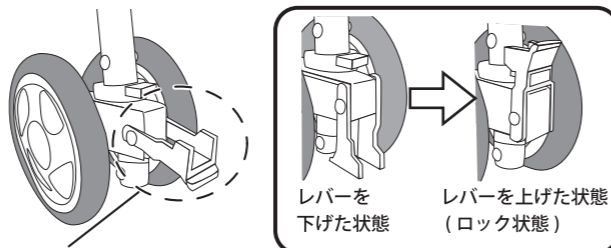
■ブレーキをゆるくする

①をゆるめてください。
②を回して調整してください。
調整が終われば①を締めてください。

キャストの操作方法

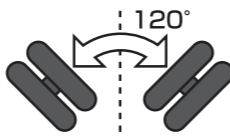
キャスト回転止めレバーを下げると、曲る方向に力を入れれば左右各60°の角度で止まり、力を抜けば直進方向に戻ります。

キャスト回転止めレバーを上げるとロックされます。



キャスト回転止めレバー

- 注**
- キャスター回転止めレバーが左右同じ状態かを確認してください。



※ご使用中には

- 用途以外には使用しないでください。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 砂、泥のあるところ、特に水たまりでは使用しないでください。
- 最大使用者体重は80kgです。ご使用される方の体重が80kg以下の方に限ります。
- 本製品の本体袋には断熱の加工を施しておりますが、長時間の保冷・保温の効果を期待できるものではありません。

※必ずお守りください。

- バッグの載荷重は7kgです。7kgを超える荷物は載せないでください。
- バッグ以外の所に荷物を載せたり、吊るしたりしないでください。
- ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
- 座面に人を乗せたまま押さないでください。
- 乳幼児、子供、動物をバッグ内に乗せないでください。
- 車体の組み立て、折りたたみなどの操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
- ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたままブレーキ操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので過信しないでください。
- 駐車用ストッパがかかった状態で車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、手をはさまないように注意してください。
- 車体からはなれるときは、必ず駐車用ストッパをかけてください。

※保管方法とお手入れについて

- 使用後は乾いた布で水分を取り、日陰で乾かしてください。
- バッグの汚れは、柔らかい布で拭いてください。
- 火の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因になります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭きとってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で車体・バッグを拭かないでください。
- フレームや車輪は砂や泥などの汚れを付けたまま放置せず、必ず落としてください。
- 長期間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、屋内で保管してください。
- 駐車用ストッパをかけた状態で保管された場合は後輪が凹んでしまう恐れがあります。駐車用ストッパをかけない状態で車体を折りたたんでも自立できる水平な場所での保管をお勧めします。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、バッグの変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に潤滑油を数滴注油してください。注油後、回転および車体の組み立て・折りたたみ操作を2～3回くりかえしてください。
- 非常口、消火器、消火栓の前に放置をしないでください。
- 定期的に各部（タイヤおよびブレーキなど）の破損、ゆるみ、摩耗などがいないかを保守・点検し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉚、ネジなどがゆるんでいないかを確認してください。
- 取扱説明書は本体とともに保管してください。

※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

各部の名称

シルバーカー ラクティブ mini

使用時サイズ：約 H82 ~ 91 × W40.5 × D52 cm

収納時サイズ：約 H76.5 × W40.5 × D34 cm

※キャスター回転止めレバーを上げた状態と下げた状態でも

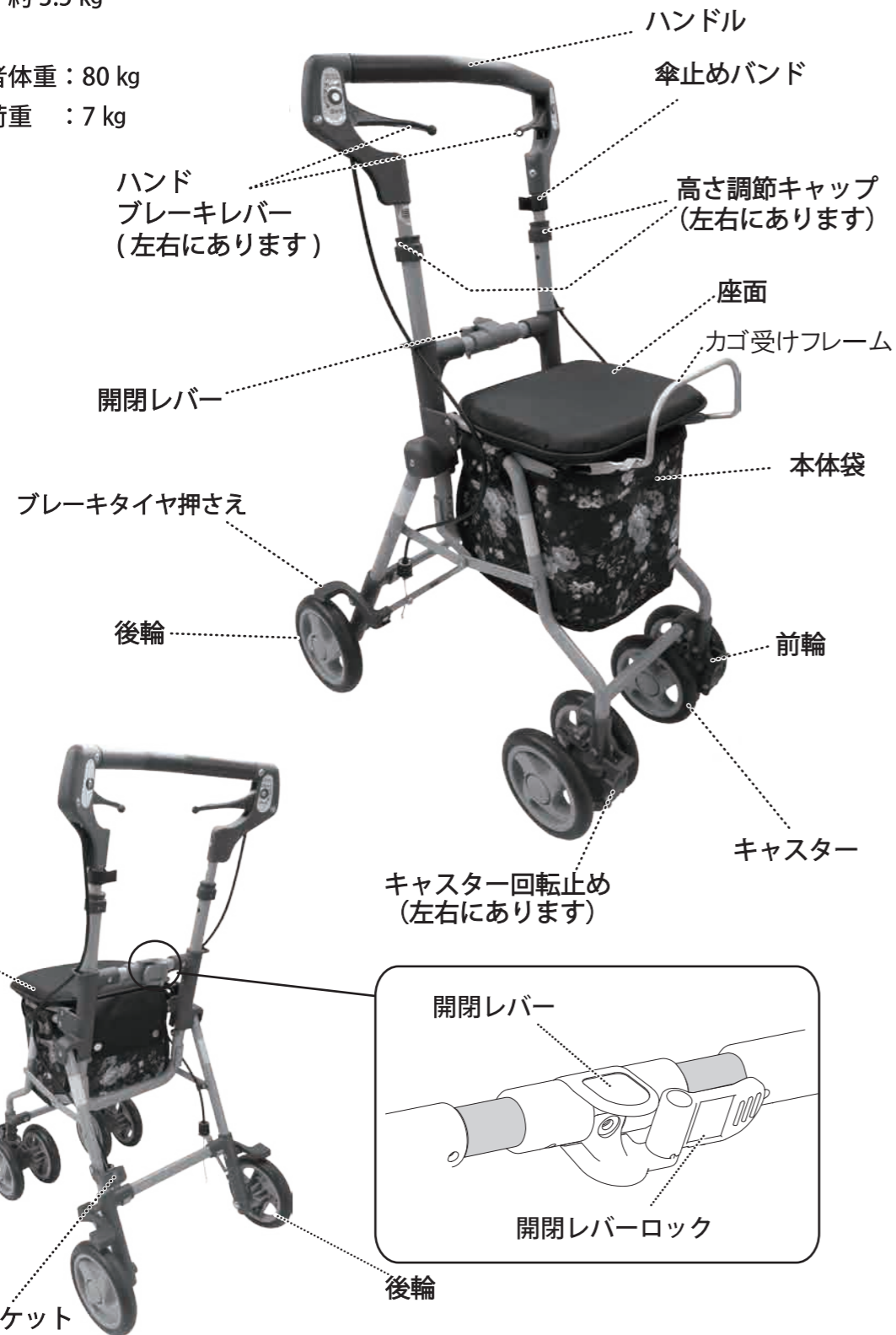
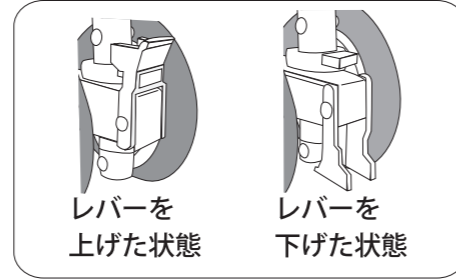
寸法は変わりません

座面高さ：約 47 cm

重量：約 3.5 kg

最大使用者体重：80 kg

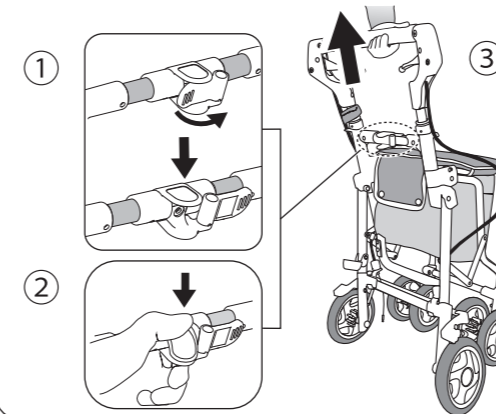
バッグ載荷重：7 kg



車体のひろげ方

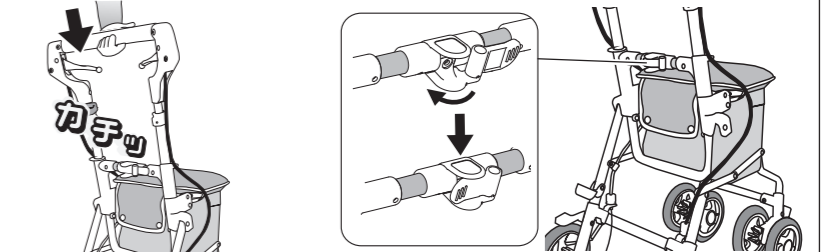
1 開閉レバーロックを開き開閉レバーのロックを解除してください。(図①参照) 開閉レバーをつまみながら、(図②参照) 図③の様に矢印の方向にハンドルが上がらなくなるまで引き上げてください。

※車体をひろげたり折りたたんだりする際は必ず開閉レバーをつまみながらハンドルの上げ下げを行ってください。開閉レバーをつまみながら行わないとロックシステムが車体を傷付ける恐れがあります。



2 開閉レバーをはなし、ハンドルを少し下方向に動かしてください。カチッと音がして固定用のロックがかかります。ハンドルがそれ以上に下に動かず、車体がひろがった状態でしっかりと固定されていることを確認してください。

3 開閉レバーロックを閉じ開閉レバーをロックしてください。開閉レバーにしっかりとロックがかかっているか(つまめない状態になっているか)確認してください。



注 ●開閉レバーロックを閉めるとシールが見えなくなります。

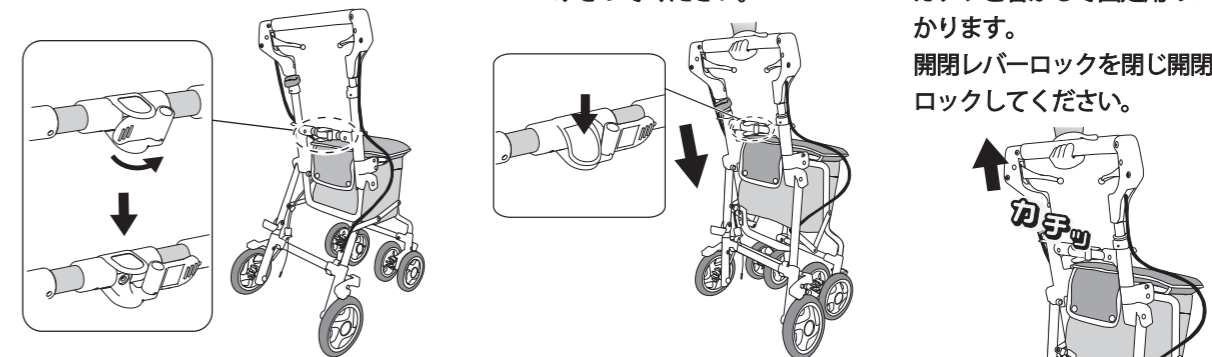


車体の折りたたみ方

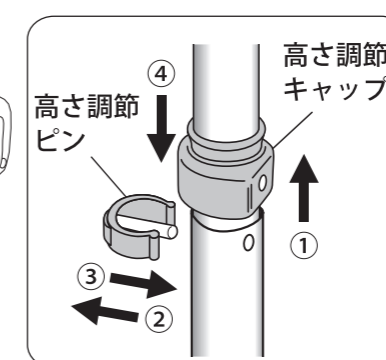
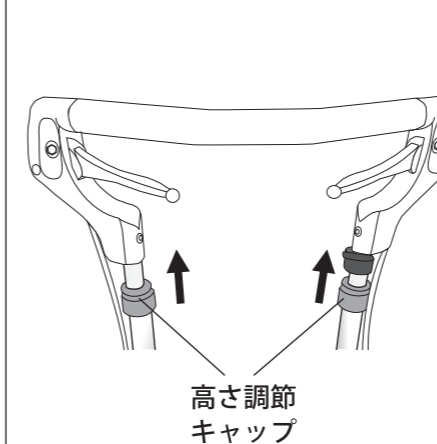
1 開閉レバーロックを開き開閉レバーのロックを解除してください。

2 開閉レバーをつまみながら矢印の方向にハンドルを下げてください。

3 開閉レバーをはなし、ハンドルを少し上方向に動かしてください。カチッと音がして固定用のロックがかかります。開閉レバーロックを閉じ開閉レバーをロックしてください。



ハンドルの高さ調節



1. 左右の高さ調節キャップを上げてください。
2. 高さ調節ピンを抜いてください。
3. 4段階から、お好みの高さに合わせたら、左右の高さ調節ピンをしっかりはめこんでください。
4. 左右の高さ調節キャップを元の位置に戻してください。

注 ●左右同じ高さであることを確認して固定してください。
●高さ調節を行うとき、高さ調節ピンを落とさないように注意してください。
●ガタつきがないか確認してください。